

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

京都市立朱雀中学校

4月19日(木)に中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施され、このほど結果がまとまりました。この調査では、国語、数学、理科に関する調査と同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されております。生活習慣と学力の関係など、本校の生徒たちの状況や傾向をお伝えします。

総合結果(国語・数学・理科)

国語・数学・理科とも、全国平均および京都府の平均を上回っています。進路をひかえている3年生は、基本的な知識を復習してきちんと身につけ、それをもとに考えて答えを導き出す思考力を伸ばして、力をつけてほしいと思います。

<国語科からのアドバイス>

・問1 聞き取りの問題では、キーワードとなる言葉をしっかりメモすることや、話の展開、話し方などの工夫されている部分に注意することを意識して、聞き取りをすることが大切です。聞き取りに限らずですが、三のように自分で言葉の意味や、指す内容を補足して説明する必要がある問題もよく出題されます。解答を作るときには、できるだけ具体的に、誰が読んでもわかる文章にする必要があります。

・問2 漢字は、「読み」よりも「書き」の問題の方が苦手と思う人が多いかもしれません。まずは、日々の漢字学習で身に着けたことを定着させること、小学校や1・2年生の頃に習った送り仮名のややこしい漢字を復習することが大切です。また、漢字の意味や使われる場面を捉えるために、漢字を一字だけで覚えるのではなく、熟語や例文と一緒に覚えるのも効果的です。そして、日常のさまざまな場面で、学習した漢字はできるだけ使って文章を書く意識をし、記憶するだけでなく使えるようにすることが大切です。

<理科からのアドバイス>

全体としてよくできていると思います。特に朱雀中学校で正答率の高かった問題が5(1)(2)と7(1)(2)で、物理・化学分野です。逆にあまりできていなかった問題が、2(2)(3)と4(2)、8(3)で、主に生物・地学分野になります。比較的覚えることが多い分野になりますが、1～2年生の学習内容を忘れている人が多いように思います。教科書をしっかり読み込み、定着させていきましょう。

2(2)：天気図を選ぶ問題です。気圧が下がり、湿度が上昇してきているところから前線が近づいていることがうかがえます。12時以降も気温の低下がみられないことから、おそらく午後から温暖前線が通過したと予想できます。天気図の読み取りに慣れておきましょう。また、季節ごとの特徴的な天気図も理解しておきましょう。

8(3)：記述問題です。実験結果から考えられることを短い文章で的確に説明できる能力が求められます。学校の問題集にも記述問題が多く掲載されているので、もう一度見直しておきましょう。

＜数学科からのアドバイス＞

今年度の全国学力・学習状況調査 数学では、全 14 問が出題されました。その問題や解答結果について分析を行いました。生徒のみなさんが頑張っている様子がうかがえる内容として、特筆すべき点は、無回答率の少なさです。これは、ほぼすべての問題で、全国値より下回っており、解答を全く書かないのではなく、どんな問題にも真剣に向き合い、途中であきらめることなく、最後まであきらめずに問題に向き合った様子がうかがえます。特に、難しい問題でも必死に向き合って課題を解決する姿が目につきました。そして、問題別に分析をしてみると、正答率は、ほとんどの問題で全国値を上回っていて、おおむね良好であると思います。ただ、2 つの設問において全国値を下回る問題があったため、それらの問題を中心に分析を行いました。

・大問 3 「ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ」問題

この問題については、若干理解ができていない生徒が見られました。これは、中学 2 年の図形領域で学ぶ「反例の意味を理解している」について問う問題です。

この問題の焦点は、「あることがらが正しくても、その逆は正しいと限らない」ということを理解している必要があることです。これらの内容は、教科書や授業において、しっかり学習していましたが、実際の設問となると、生徒のみなさんは理解しているものの、内容に関して問うことに関しては、多くは実践できていないため、設問の内容に戸惑い、苦戦したのではないかと思います。

ですので、教科書や授業で学習した内容は、試験や入試に出題される等に関係なく、実社会においても重要な内容と捉え、これからもしっかりと意識しながら、学習に取り組んでほしいと思います。

・大問 7 (2) 「箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ」問題

この問題は、中学校では令和 3 年度より、新学習指導要領になり、新しく 2 年で学習する内容となっています。そのため、この「箱ひげ図」の学習はこれまでの中学校の教育課程では扱っていなかったこともあり、あまり定着できていない内容であると思います。しかも、この「箱ひげ図」の学習は、これまで高等学校の「数学 I」で学習していた内容であるため、近年の大学入学共通テストでも出題され注目されている学習内容です。

そのため、この「箱ひげ図」は、今後の数学の学習において重要な学習項目になっていると捉え、しっかり復習してください。

数学の学習は、「現実社会においてはあまり役に立たないから学習する必要はない」と考えたり・聞いたりすることは多いと思います。ただ、OECD（経済協力共同機構）が実施している「PISA 調査（生徒の学習到達度調査）」では、数学的リテラシーとして、単に学問としての数学だけではなく、現実社会において活用できる数学の力も必要であるとしています。そのため、今回の全国学力テストにおいても、いま、社会が求めている数学的リテラシーを意識しながら出題されていますので、これらの問題を今後の学習の目標の一つとして取り組んでください。

しかし、今、中学 3 年生のみなさんにとって、今すべきことは、数学を楽しむべきことも大切ですが、これからの進路実現に向けて、自身が希望する進路について徹底的に調べ、選抜試験の傾向や対策を行うことも重要だと思います。そして、これまでの選抜問題を解く・分析するなどして、出題された数学の問題について出題形式や傾向の特徴を知ることが大切だと思います。そこから、苦手な部分について、早めに復習し、改善できるようにすることが大切です。卒業まであと 5 か月です。みなさんのこれまでの努力と頑張ってきたことを信じています。最後まで、あきらめずに頑張ってください。

生徒質問紙調査 ～質問紙調査から読み取れる、本校生徒の傾向をいくつか紹介します～

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」という質問には大変多くの生徒が当てはまると回答し、全国平均を上回りました。進路を決める３年生という時期に差し掛かっていることもあり、自分の将来についてしっかりと考えている生徒が多いことは、大変頼もしい結果だと思います。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問には、全国平均を上回る生徒が、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答していました。１年時より、道徳や総合学習で、人権の大切さについては継続的に学習してきました。引き続き、人権に対する意識を高く持ち続けていってほしいと思います。
- ・授業に関する質問では、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立て情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」という質問に対して、全国平均を大きく上回る生徒が、当てはまると回答していることは、１年時より総合的な学習の時間での発表活動に力を入れてきた成果だと思います。１年時では地域調べ、２年時ではSDGs学習、そして３年時では、３年間の集大成としての「朱雀学」の学習に取り組んでいます。３年間の総合学習の時間で身に着けた力を、今後の至るところで発揮していってほしいと思います。
- ・「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っているか」という質問において、きちんと守っていると回答した生徒が全国平均と同じくらい高い傾向にありました。ご家庭できちんと話込みをしていただいていることが分かります。一方で、携帯電話の使用時間やゲームをする時間の割合は、全国平均よりやや多い傾向にあります。引き続き、携帯電話の使用に関しては、ご家庭でも注視していただけますよう、よろしくお願いいたします。
- ・「家で学校からの課題でわからないことがあったとき、どのようにしていますか」という質問では、全国平均を上回る多くの生徒が、「家族に聞く」と回答していました。日頃より、ご家庭でのコミュニケーションが多く取れていることが大変よくわかる結果だと感じています。

全体を通した本校の成果と課題

本校では「実社会に生かせる課題解決力と、人と交わるコミュニケーション力をもち、自分の未来を創造する生徒を育てる」という学校教育目標のもと、日々の授業を基本とし、学力向上のため「主体的・対話的で深い学びをめざした授業に取り組んでいます。

各教科の回答状況からは、無回答の生徒が少なく、簡単にあきらめてしまった人はほとんどいないことがわかります。そのことから、学びに対して粘り強く取り組む姿勢が養われていることがうかがえます。また、教科で学習したことを総合的な学習の時間などで多面的に発揮できているところも本校生徒の顕著な成果だと考えます。ただ、教科で学習したことを自分の実生活と結び付けて考えたり、創造的な考えに発展させたりすることがやや苦手の傾向も見取れます。その点は、今後の課題として、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

<保護者の皆様へ>

全国調査は、子どもたちの課題をつかみ、各校でその改善策を考えていくためのものです。本校では、毎年調査結果を受け、教科指導についての研修をかさね、本校の課題解決に取り組んでいます。

また、生徒それぞれに個票として調査結果を返却いたします。それをご覧いただき、自分自身の課題を見つけ、その克服のために、ご家庭でお子たちと話し合われることが大切です。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びのためにご協力をよろしくお願いいたします。